



ドイツ大学生がやってくる!! ホストファミリー大募集!

下野市国際交流協会では、「第19回グリムの里夏期日本語講習会」を開催するにあたり、8月17日(金)から約2週間、ドイツの大学生をホームステイさせていただけるホストファミリーを募集します。ミュンヘン大学から8名の学生が下野市を訪れ、日本語や日本文化について学びます。大学生とのコミュニケーションは英語でも大丈夫です(中には日本語を多少話せる学生もいます)。

原則として1家庭につき1名受け入れていただきます。異文化交流に興味のある方は、この機会にぜひドイツ大学生を受け入れてみませんか?



ご希望の方は、市国際交流協会事務局(市役所生活安全課内) ☎(40)55555)までお電話ください。

●応募期間

6月11日(月)～22日(金)

●決定方法

申し込み多数の場合は先着順とし、過去に受け入れをしていない家庭を優先させていただきます。

ホストファミリーの条件等

- 1 原則として市内にお住まいで、平日の朝夕の送迎ができるご家庭に限り(講習や体験のため市役所に集合していただくため)。
 - 2 受け入れ学生の性別など、ご希望どおりの配置ができない場合がありますのでご了承ください。
 - 3 学生は、平日の昼間は各種体験等のプログラムに参加します。土日は各家庭での対応となります。※ホストファミリーは特別なもてなしをする必要はありません。日本の日常生活を体験することが大学生たちの真の目的です。
- 申し込み・問い合わせ先
国際交流協会事務局
(生活安全課内)
☎(40)55555

国際交流員さんの「お楽しみ箱」第2回

オーストリア料理：マリレンクネーデル (Marilien Knödel)

オーストリアといえば何を思い浮かべますか?日本人にとってはイメージがつかみにくい、発音が似ていますので、オーストラリアとよく間違えそうです。

ドイツ人にとってオーストリアといえば、山やスキーにうってつけの場所であり、素晴らしい建築やウィーンのカフェハウスで有名です。

特にジャガイモから作ったクネーデル(Knödel 団子)はドイツやオーストリアで人気があり、メインディッシュとしても食べられています。

そういえば杏子(塊: Marille、独: Aprikose)をジャガイモの団子(Knödel)で包んだ料理を作ってみませんか?オーストリア出身のモニカ・ペーレンターラー先生(ドイツ語の初級と中級の先生)が教えてくれますよ!



●日時

6月26日(火) 午後6時～8時頃

●場所

きらら館(調理室)

●参加費

一般: 600円、国際交流協会会員: 500円、10歳以下それぞれ半額

●申し込み期間

6月11日(月)～22日(金)

●定員

20名

●申し込み・問い合わせ先

生活安全課 ☎(40)55555

✉sashimotsuke@gmail.com